

平成26年度 第2回 CCC 社会学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時：平成26年6月2日（月） 13：30～15：30

II. 場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 犬塚委員 土屋委員 竹田委員 （事務局） 井端事務局長 森下

IV. 資料

- ・平成26年第1回 CCC 社会学グループ運営委員会 議事録
- ・平成26年度 CCC 社会学グループ運営委員会名簿
- ・社会学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究開催要項
- ・参考1：アクティブ・ラーニングとはなにか
- ・参考2：「学ぶ」から「できる」へー経営系科目のアクティブ・ラーニングー

V. 議事内容

1. 配布資料の確認

2. 前回議事録の確認

3. アクティブ・ラーニング研究対話集会の内容について検討

- ・目的はアクティブ・ラーニングに関して多くの参加者と意見交換すること
- ・少人数の事例は多いが大人数（100名位）の事例が欲しい
- ・ワールドカフェ方式で議論してはどうか
- ・社会学のアクティブ・ラーニングはこう考えるというよう意見交換が望まれる
- ・アクティブ・ラーニングを自分の問題として考えてもらえる機会にしたい
- ・しっかりとしたカリキュラムの学修とアクティブ・ラーニングの組み合わせの事例があれば話題提供として募集して紹介したい。
- ・このため6月に話題提供の募集を行い、その結果を踏まえて7月に参加者を募集する。

以上の議論を踏まえた以下のプログラムを決定した。

(1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯 13：00～13：10（10分）

報告：土屋委員（江戸川大学 社会学部教授）

(2) 様々なアクティブ・ラーニングに関する取り組みの話題提供 13：10～13：50

進行：犬塚委員（実践女子大学 生活科学部教授）

話題提供

① 「地域活性化プロジェクトにより創造性を育む協働型体験学習」（20分）

青谷 実知代 氏（神戸松蔭女子学院大学 人間科学部准教授）

② 「100人以上の大人数クラスでの学生参加型双方向授業の試み」（20分）

小泉 真人 氏（東海大学 文学部 広報メディア学科教授）

③ 「参加者による話題提供」13：50～14：00（10分）

(3) 意見交換 14:00~14:50 (50分)

取り組み事例及び本協会の教育改善モデル、さまざまな方策などを題材に、アクティブ・ラーニングが十分達成されない要因、今後の改善点、教育効果を判定する方法などを中心に意見交換をワールドカフェで行う。

4. 開催内容

- ① 場所 (株)内田洋行 本社オフィス7階 フューチャークラスルーム
- ② 日時 8月21日(木) 13:00~18:00

5. 次回の委員会

日時:平成26年8月21日(木) 13:00~18:00 の対話集会とする。